

鳥取県地震

2024年（令和6年）5月

鳥取地方気象台

目次

(1) 鳥取県とその周辺の地震活動	
震央分布図及び断面図、概況	1
震源リスト（M2.0以上）	1
(2) 鳥取県内で震度1以上を観測した地震	
震度のリスト	2
震度分布図	2
(3) 地震・津波の知識	
津波フラッグを知っていますか？	3

- 本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成している。

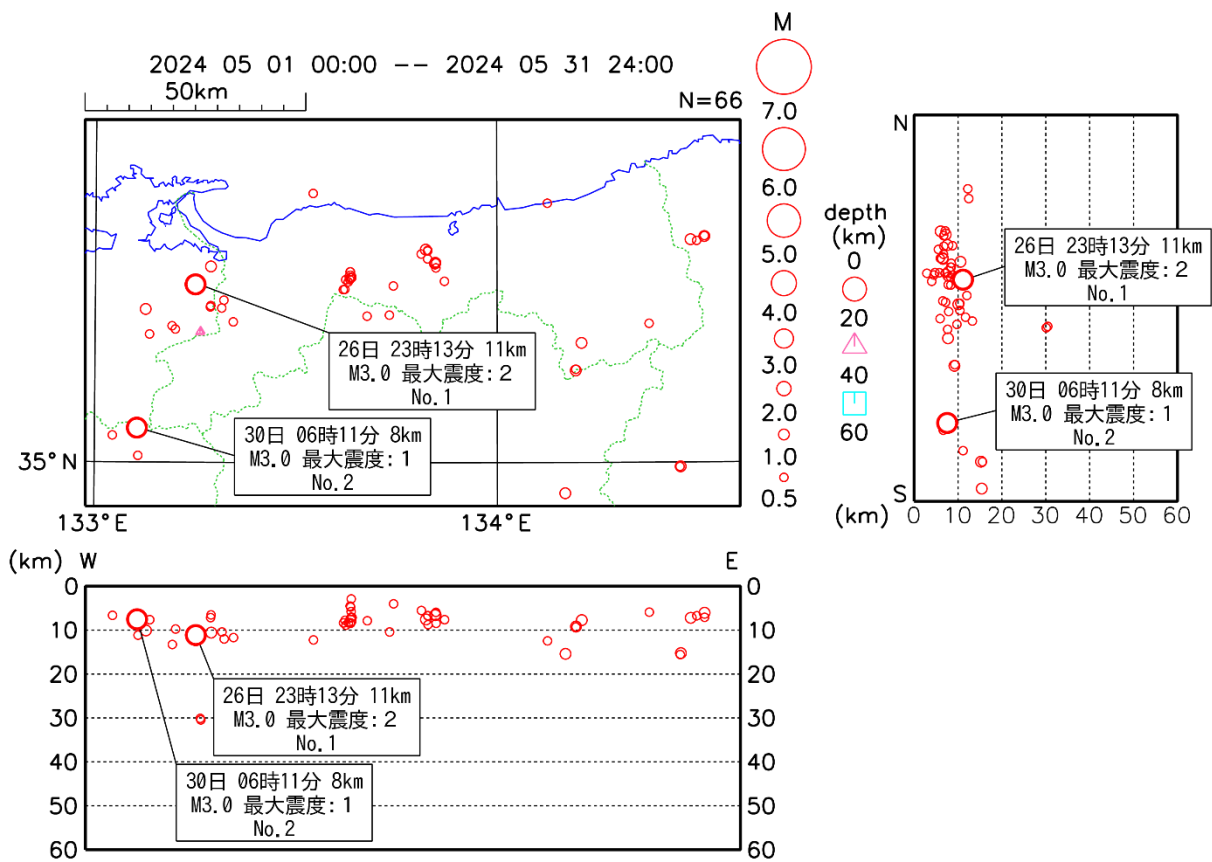
また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成している。

- 本資料の地震の震源要素、震度データ及び発震機構解等は再調査された後、修正されることがある。

* 広域の地震については、大阪管区気象台作成の「大阪管内地震活動図」をご覧ください。
大阪管内地震活動図URL <https://www.jma-net.go.jp/osaka/jishinkazan/kanindex.html>

(1) 鳥取県とその周辺の地震活動

[震央分布図・断面図]



[概 況]

2024年5月に鳥取県内の震度観測点で震度1以上を観測した地震は1回（前月は2回）でした。

26日23時13分 島根県東部の地震（深さ11km、M3.0）により、鳥取県米子市、島根県安来市で震度2を観測したほか、鳥取県、島根県で震度1を観測しました。

上記震央分布図内において、M2.0以上の地震は2回（前月は1回）でした（番号は震源リストに対応）。

なお、30日06時11分に発生した地震（上図のNo.2）は島根県、広島県で震度が観測されています。

[震源リスト(震央分布図内のM2.0以上の震源リスト)]

期間：2024年5月1日00時00分～2024年5月31日24時00分

緯度：34°55'～35°45' N 経度：133°00'～134°40' E

深さ：0km～60km

No.	発震時(年 月 日 時 分)	震央地名	北緯	東経	深さ(km)	マグニ チュード	最大 震度
1	2024年05月26日23時13分	島根県東部	35° 21.7' N	133° 14.9' E	11	3.0	2
2	2024年05月30日06時11分	広島県北部	35° 4.1' N	133° 6.3' E	8	3.0	1

(2) 鳥取県内で震度1以上を観測した地震

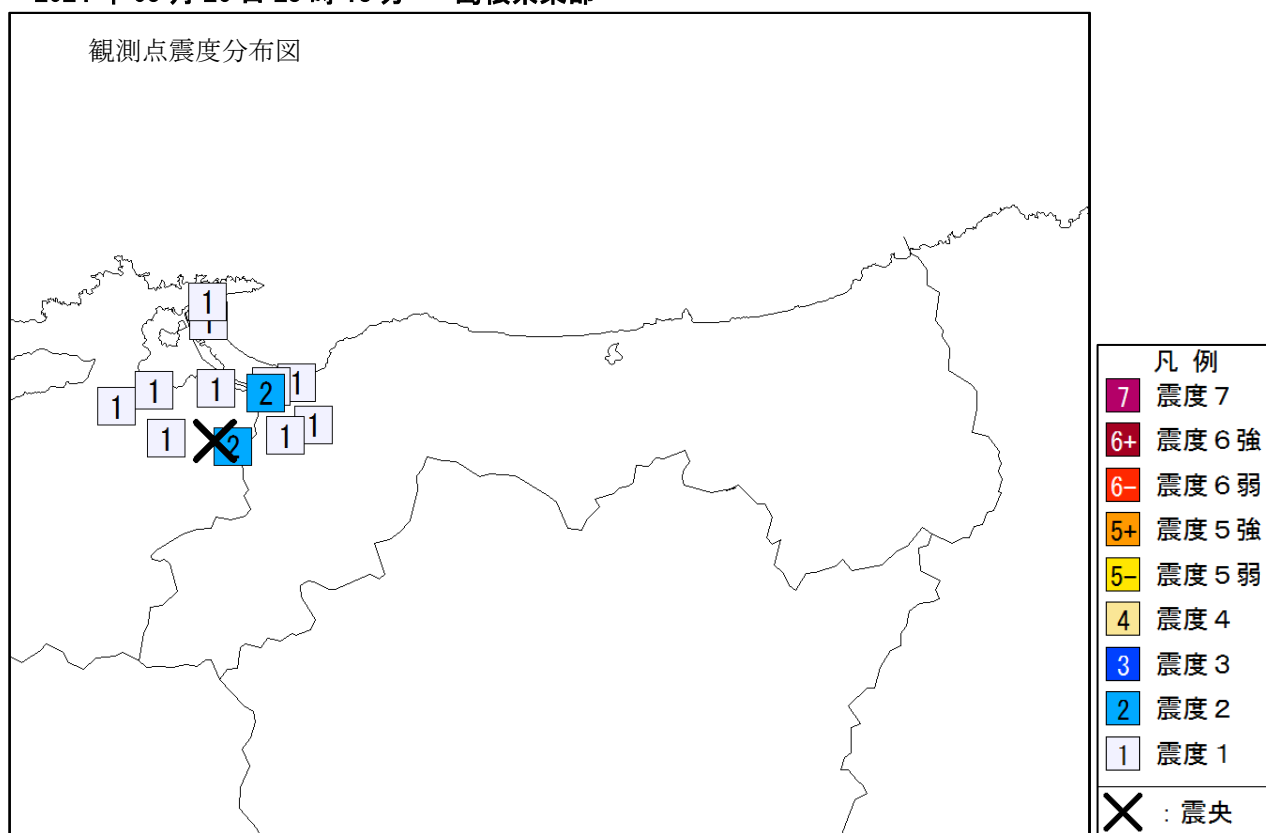
[鳥取県内で震度1以上を観測した地震及び震度のリスト]

発震時 (年 月 日 時 分)	震央地名	北緯	東経	深さ	マグニチュード
2024 年 05 月 26 日 23 時 13 分	島根県東部	35° 21.7' N	133° 14.9' E	11km	M3.0
----- 地点震度 -----					
鳥取県 震度 2 : 米子市東町*					
震度 1 : 米子市博労町, 境港市東本町, 境港市竹内町*, 日吉津村日吉津*					
鳥取南部町天萬*, 伯耆町吉長*					

・*印のついている地点は、鳥取県または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。

[鳥取県内で震度1以上を観測した地震の震度分布図 (図中×は震央)]

2024 年 05 月 26 日 23 時 13 分 島根県東部



(3) 地震・津波の知識

津波フラッグを知っていますか？



津波フラッグとは

津波警報等[※]は、テレビやラジオ、携帯電話、サイレン、鐘など、様々な手段で伝えられます。しかし、これらの手段では、聴覚に障害をお持ちの方に伝えることは困難です。また、海水浴場では、健常者の方でも、波音や風で音が聞き取りにくい環境にあることも少なくありません。

そこで、視覚により伝える方法として、令和2年6月に赤と白の格子模様の「津波フラッグ」が定められました。

海水浴場を有すると回答した市町村のうち、63%の市町村が「津波フラッグ」を導入しています（令和6年2月29日現在、気象庁調べ）。

※ 津波警報等は、大津波警報・津波警報・津波注意報の総称です。

津波フラッグを見かけたら

津波フラッグは、津波警報等が発表されていることを知らせる合図です。見かけたら速やかに避難を開始して下さい。

その際は、「より高いところ」を目指すことが重要です。高台や津波避難ビルなど、津波避難場所に指定されている高い場所へ直ちに避難しましょう。

また、車を利用した場合、渋滞などにより円滑に避難できないことがあります。原則、徒歩で避難するようにしましょう。

海沿いにお住まいの方や旅行される方は、津波ハザードマップで津波の避難場所を確認しておきましょう。



津波フラッグの詳細情報は
こちらで確認

https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/tsunami_bosai/tsunami_bosai_p2.html

ハザードマップはこちらで確認

<https://disaportal.gsi.go.jp/>

国土交通省：ハザードマップポータルサイト

 図の破線赤丸が津波フラッグです



はれるんは、誕生
20周年を迎えます

そのほかの地震活動の詳細については、気象庁ホームページまたは『令和6年5月地震・火山月報（防災編）』をご覧ください。

URL <https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/gaikyo/>

問い合わせ先：鳥取地方気象台

TEL：0857-29-1313